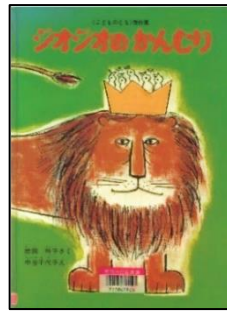


としょかんがすすめるなつやすみのほん（1・2年向き）

『ジオジオのかんむり』

岸田 衿子／作 中谷 千代子／画
福音館書店（Eナ・ジ）

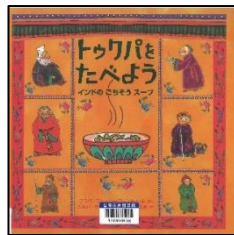


たまごがぜんぶなくなってしまうとりのために、ジオジオは、じぶんのかんむりのなかに、すをつくるよういいます。そして、かんむりのなかで、ことりがうまれたとき、ジオジオはどんなきもちだったのでしょうか。

『トゥクパをたべよう』

プラバ・ラム ほか／ぶん シルパ・ラナテ／え
イマジネーション・プラス（Eラ・ト）

目のみえないツェリンは、つえをつきながら家に帰るとちゅう、みんなを晩ごはんにしょうたいします。だって、今日の晩ごはんはツェリンの大好きな「トゥクパ」だからです。ところが、トゥクパをつくっているさいちゅう、ていでんがおきてまっくらに…。



『おんちよろちよろ』

瀬田 貞二／再話 梶山 俊夫／画
福音館書店（Eオ）



家にとめた男の子がとなえたてらめなお経をおぼえてしまったおじいさんとおばあさん。ありがたいお経だと信じて、毎日となえていました。ある日、ふたりの家に入りこんだどろぼうたちは、このお経をきいておどろきます！

『しょうたとなっとう』

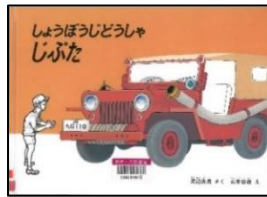
星川 ひろ子／写真 星川 治雄／写真・文
ポプラ社（619シ）



なっとうがきらいなしょうた。おじいちゃんがつくってくれたなっとうは食べられるかな？

『しょうぼうじどうしゃじぶた』

渡辺 茂男／さく 山本 忠敬／え
福音館書店（Eヤ・シ）



じぶたは、ほかのしょうぼうしゃのように、ながいはしごも、ちからのつよいポンプももっていません。でも、ちいさなじぶただからこそ、できることがあるのです。

『ポケットのないカンガルー』

H.A.レイ／え エミイ・ペイン／さく
偕成社（Eレ・ポ）



おかあさんカンガルーのケイティのおなかには、こどもを入れてはこぶためのポケットがありません。こどものためにどうしてもポケットがほしいケイティは、ポケットをさがしに町へ行くことにします。

『せかいいちうつくしいぼくの村』

小林 豊／作・絵 ポプラ社（Eコ・セ）



ヤモが暮らす村は、春にはたくさんのお花が咲き、夏にはたくさんのおかきものがみえる、うつくしい村です。ヤモは、せんそうへいった兄さんのかわりに、父さんといっしょに村でとれたくだものを売りに、市場へでかけます。

『おじいちゃんがおばけになったわけ』

キム・フォップス・オーカソン／文
エヴァ・エリクソン／絵
あすなる書房（Eエ・オ）



エリックの部屋に、死んだはずのおじいちゃんがおばけになってあらわれた！この世にわすれものがあると、人はおばけになるらしいんだけど、おじいちゃんのおばけってなんだろう？

『ステラとカモメとプラスチック』

ジョージナ・スティーンズ／作
イジー・バートン／絵 岩崎書店（Eバ・ス）



ステラの友だちのカモメは、海辺にすてられたプラスチックごみを食べたせいで、ぐあいがわるくなってしまいます。そこで、ステラは海辺でのごみひろいをはじめることに…。

『みしのたくかにと』

松岡 享子／作 大社 玲子／絵
こぐま社（913マ・ミ）



ふとちよおばさんは、台所で見つけたタネを庭にまき、「あさがおかもしれない、すいかかもしれない、とにかくたのしみ」という札をたてました。この札を見かけた王子は、どんなものが育つのか気になってしかたがありません。ついには食べてみたいと言い出し…。

『おともだちにナリマ小』

たかどの ほうこ／作 にしむら あつこ／絵
フレーベル館（913タ・オ）



1年生のハルオは、はじめてひとりで学校へ行くときちゅう、道がわからなくなってしまいます。ようやく学校にたどりついたハルオですが、みんなの様子がおかしくて…。

『ぺちゃんこスタンレー』

ジェフ・ブラウン／文 トミー・ウンゲラー／絵
あすなる書房（933ブ・ベ）



目が覚めると、厚さ1.3センチのぺちゃんこのからだになっていたスタンレー。はじめは、ぺちゃんこの生活を楽しんでいましたが…。

『はまべでひろったよ』

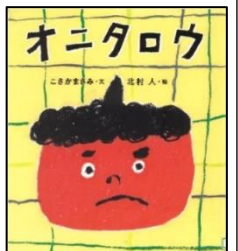
ひさかたチャイルド（407ハ）



はまべには、いろんなものが落ちています。どんなものが、どうやって、はまべに流れついたのでしょうか。

『オニタロウ』

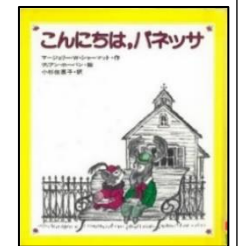
こさか まさみ／文 北村 人／絵
福音館書店（913コ・オ）



オニの子のオニタロウはやさしい子で、動物たちと仲良く暮らしていました。ある日、様子を見に来たお父さんに、「コブンが30人いる」とウソをついてしまいます。さらに、お父さんが次に来るときまでに30人のコブンにあわせると約束までしてしまいます。オニタロウはコブンになってくれるこたちをさがしますが…。

『こんにちは、バネッサ』

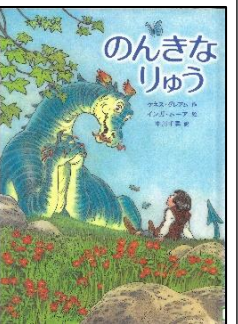
マージョリー・W・シャーマット／作
リリアン・ホーバン／絵
岩崎書店（933シ・コ）



ねずみのバネッサは、はずかしがりやでともだちがいません。だけど、勇気をだして、じゅぎょう中におおきな声で手をあげ、こくばんにこたえをかきまします。すると、バネッサの心に変化があらわれます。

『のんきなりゅう』

ケネス・グレアム／作 インガ・ムーア／絵
徳間書店（933グ・ノ）



やさしいりゅうと友だちになった男の子。しかし、村人たちはりゅうをあくとうだと決めつけ、騎士をよんで退治してもらうことに。はたして、男の子はりゅうを守ることができるのでしょうか。